

Title	2泊3日の国内留学で見られた児童の英語学習意欲の向上
Author(s)	藤原, 真知子
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-3 : 6-7
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=2327
Rights	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

2泊3日の国内留学で見られた児童の 英語学習意欲の向上

藤原真知子

聖学院小学校の5年生は毎年、福島県にあるブリティッシュヒルズ（British Hills）で、英語を使って2泊3日を過ごす。今年度も5月に5年生77名がこのプログラムに参加した。ブリティッシュヒルズは、英国荘園領主の館を中心とした広大な敷地の中に中世英国の民家、パブなどを点在させ、ひとつの「町」を形成している。滞在者はマントを羽織り、ハリーポッターの映画に出てくるような大食堂で食事をし、中世の英国にいるような雰囲気を楽しむことができる。プログラムを担当するスタッフは皆、英語を母国語とするネイティブ・スピーカーであり、児童は、ダンス・スコーン作り・西洋書道・言葉遊びゲームなどのアクティビティを英語だけで体験する。以下に、5年生の児童が英語を使ってアクティビティに参加した様子、プログラムを担当した現地の外国人スタッフの意見、この体験についての児童へのアンケートとその結果を記す。

到着するとすぐに、児童はチェックインシートに名前・住所・学校名を英語で記入し、施設の説明を英語で受けた。その後、15～6人のグループに分かれて英国文化を体験し、さらに英語でのコミュニケーションに挑戦するアクティビティに参加した。ダンスレッスンでは、手・足・体を指示どおりに動かして英国のフォークダンスを習い、クッキングレッスンでは、各材料の分量や手順を聞きとって、英国伝統のおいしいスコーンを作った。西洋書道のレッスンでは、ペンの持ち方と文字に応じたペンの角度を学び、伝統的な飾り文字で手紙を書いた。また、言葉遊びでは、ゲームやクイズに答えてポイントを競いあった。

児童は1年生の時から英語を学んでいることもあり、ものおじせずに外国人スタッフと接することができていた。話の内容に分からない箇所があっても、全体の状況の中で意味をとらえようとし



英国のフォークダンス、うまく踊れるかな



クイズに挑戦！何問正解できるかな

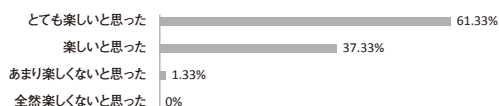
ている様子が見ええた。また、質問にも簡単な言葉で、どうにか返答していた。プログラムを担当した外国人スタッフ6人は「児童の英語への反応の良さに感心した」「良く英語がわかっていた」「児童とコミュニケーションが取れて嬉しかった」「リスニング力に優れている」「英語に慣れているようだ」「文字も良く読めて驚いた」とコメントしてくれた。児童が文字を多少読めたことで、アクティビティの範囲も広がったようである。児童へのアンケートの内容とその結果は、グラフの示すとおりである。

アンケート結果では、児童の98.6%がブリティッシュヒルズでの体験が楽しかった、94.6%はスタッフの言っていることが分かった、92.0%は質

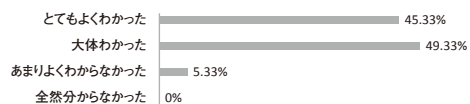
問などにも答えることができた、90.6%は自分の英語に自信が持てた、94.6%はこの体験を通して今後の英語学習にさらなる意欲が持てたと回答している。これらの結果から、相手の言っていることを理解し、指示に従って行動し、楽しく英語が使えたブリティッシュヒルズでの体験は、児童に自信を与え、これからの英語学習にとって大変意義のあるものになったと言えるのではないだろうか。また今回の体験で97.3%の児童が1年生から英語を学んできたことを良かったと感じている。低学年から英語に慣れさせ、このような実践の機会を定期的に与えることができれば、「英語が使える小学生の育成」も期待できると考えている。

ブリティッシュ・ヒルズでの体験アンケート (聖学院小学校5年生、75名回答 2009年5月)

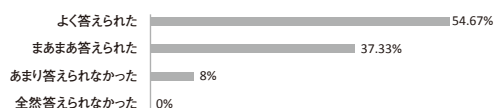
1. この体験を通して英語を使うことは



2. スタッフの言ったことは



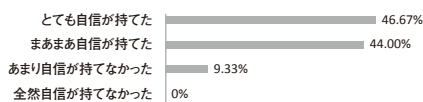
3. 聞かれたことには



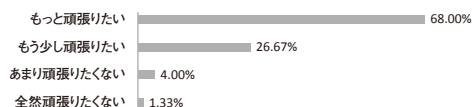
6. 1年生から英語を学んだことは



4. 自分の英語について



5. 今後の英語学習について



(ふじわら・まちこ 聖学院大学総合研究所特任講師)